

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	愛名やまゆり園
指定管理者	社会福祉法人かながわ共同会
指定期間	H18.4.1 ~ H28.3.31
施設所管課	障害サービス課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

利用者数については、目標数に近い利用者があり、昨年度と比較した場合、増加となっている。
また、重度障害や高齢化など個々の状態に合わせた適切なケアの取組み等積極的に進めるとともに、地域移行に向けた支援や在宅障害者に対する支援等地域に対する支援も充実しており、良好な管理運営が行われている。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月5日	11月5日	○	—	—	無	
11月	12月5日	12月5日	○	—	—	無	
12月	1月4日	1月4日	○	—	—	無	
1月	2月6日	2月6日	○	—	—	無	
2月	3月5日	3月5日	○	—	—	無	
3月	4月5日	4月5日	○	—	—	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	重度重複障害者支援の特色ある施設運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・半年毎の個別支援計画のモニタリングを充実させ、個々のニーズにあった支援を実施した。 ・利用者の人権を尊重した支援を行うため、毎月の人権目標の設定、支援の振り返りを行うための人権ノート取組み、年度末に人権振り返りチェックシートを全職員に実施した。 ・重度障害者の地域生活移行への取組みを継続して行い、昨年度末に1名が他法人のケアホームへ移行できた。 ・生活環境プロジェクトを立ち上げ、日中活動プログラムの見直しや同成果の検討を行った。

	提案内容	実施状況
2	<p>加齢に伴い一般の人に比較して早期にかつ急激に進む身体機能、精神機能及び生活機能の低下に対する予防と介助量の増大に対して、より安心、安全な生活を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴い医療的ケアが必要な利用者への支援を今年度新たにスタートした制度に基づき実施した。（指導看護師6名、対象利用者10名、第三号研修修了者62名） ・利用者の身体的機能低下を予防するため、昨年度に引き続き理学療法士による専門的アプローチを受け、支援レベルの向上に努めた。
3	<p>行動障害の著しい重度知的障害者に対して、安定的なプログラムを提供して、当該行動の軽減を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害者への支援技術の向上のための研修に職員を派遣すると共に、「障害理解」をテーマとして園内研修を実施した。 ・利用者の居住空間を整備するため、女性寮の居室を改修した。
4	<p>障害の重い入所者の地域生活移行への取り組みと、在宅障害者支援のバックアップ施設として、待ちの姿勢ではなく地域に積極的に進出する相談活動を行い、地域支援機能の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアホームでの体験利用の受け入れを実施した（延べ22人、97日利用） ・在宅障害者支援としての短期入所利用者を積極的に受け入れた。 ・生活介護と施設入所支援を使つての1ヶ月単位の課題入所を実施した。 ・「厚木市・愛川町・清川村自立支援協議会」において、とりまとめとしての役割を担った。 ・臨床心理士、ケースワーカー等専門職員がチームで近隣事業所等へ訪問相談を実施した。（4月～3月 94回実施） ・相談支援の充実を図るため県域を対象に研修を実施した。
5		

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額			支出額	収支差額	
		指定管理料	利用料金	その他収入			収入合計
募集時の積算額 (参考)		425,204	540,059	22,007	987,270	987,270	0
予算額	前年度	391,882	520,342	132,370	1,044,594	1,013,639	30,955
	上半期	211,174	256,434	18,473	486,081	400,642	85,439
	下半期	180,708	263,908	113,897	558,513	612,997	▲ 54,484
	今年度	329,323	583,147	29,650	942,120	905,858	36,262
	上半期	211,000	270,029	11,879	492,908	480,522	12,386
	下半期	118,323	313,118	17,771	449,212	425,336	23,876
下半期実績額	10月	29,476	50,635	4,389	84,500	62,737	21,763
	11月	29,476	49,056	1,860	80,392	61,574	18,818
	12月	66,833	19,921	29,783	116,537	119,338	▲ 2,801
	1月	29,477	48,447	1,516	79,440	63,331	16,109
	2月	29,475	45,078	2,867	77,420	67,597	9,823
	3月	▲ 66,414	46,561	2,319	▲ 17,534	87,138	▲ 104,672
	今年度 下半期合計	118,323	259,698	42,734	420,755	461,715	▲ 40,960
	前年度 下半期合計	180,708	261,179	110,707	552,594	622,089	▲ 69,495
	対前年度下半期比			③	-23.9%	-25.8%	
参考	今年度 上半期合計	211,000	294,561	18,031	523,592	428,394	95,198
	今年度 合計	329,323	554,259	60,765	944,347	890,109	54,238

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	○	備品・施設の老朽化に伴う更新を踏まえて予備費として計上している。
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：大規模修繕：指定管理者と協議、各所営繕
 工事・計画修繕工事：県、これ以外：指定管理者

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	11,139	体育館外壁等改修工事（外壁補修、塗装、防水）（10,646千円） 消防設備改修工事（誘導灯等交換）（493千円）
合計	11,139	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	7,128	車両購入（生活介護）
	6,600	特殊浴槽購入（生活介護）
	0	
	0	
積立等		

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	101 人	87 人	16.1 %
11月	103 人	87 人	18.4 %
12月	98 人	88 人	11.4 %
1月	99 人	88 人	12.5 %
2月	99 人	88 人	12.5 %
3月	99 人	93 人	6.5 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	564 人	562 人	530 人	▲ 0.4 %	6.1 %
今年度下半期計	600 人	599 人	531 人	▲ 0.2 %	12.9 %
今年度合計	1,164 人	1,161 人	1,061 人	▲ 0.3 %	0.1 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	平成23年度は1寮閉鎖してのスプリンクラー取付け工事を行ったため、利用者数が減員している。
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	下半期は施設入所支援と生活介護を使つての1ヶ月単位の課題入所を実施した。その調整等の関係で1名下回った。
③ その他特記事項	/	

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
	3	1	0	0	0	4
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	短期利用中に入浴を希望したのにも関わらず入浴できなかったと本人が訴えたその後日家族よりお話があった。	本人の体調が思わしくなく入浴を見合わせた。その説明が本人にも家族にも不十分であった。 状況をお伝えし、了解いただいた。
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
10月9日	散歩中に通りかかったコンビニに駆け込み缶コーヒーを開けてしまい、コーヒーが床にこぼれてしまう。	職員が静止したが間に合わなかった。お店の方に代金を支払い謝罪する。	利用者の特性を把握していながら予測しての行動がとれなかった。コースの見直し等環境整備を行うと共に職員配置数も検討する。
1月12日	爪切りを実施したところ、突然利用者が動いたため、左足小指の先端を裂傷してしまう。	すぐに消毒、ガーゼで圧迫止血し看護課にて処置を行う。入浴を控えるよう指示が出る。	利用者特性の把握が弱かった。動いてしまうリスクがある場合には、複数の職員で対応する。
3月9日	興奮した利用者が他利用者の居室に入り中にあったCDデッキを天井に向けて投げつけ、天井とCDデッキを破損した。	他利用者がたまたま居室にはいなかったため、怪我等にはいたらなかった。	騒々しいと興奮してしまう障害特性のある利用者のため、環境整備と共に見守りの徹底を図る。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等医療的ケアの実施に関しては、大きな事故もなく利用者の状態も安定している。しかし、高齢化に伴い利用者の体力は確実に低下しており、疾病による通院件数も年々増加してきている。感染症予防の職員研修を行うと共に非常勤看護師を増配置し体制整備に努めた。 ・在宅障害者支援である短期入所事業のニーズに応えるため、女性寮の改修を行い個室を整備した。 ・1ヶ月単位の課題入所を施設入所支援と生活介護を使って実施した。在宅生活が難しくなっている利用者の支援を少し長いスパンで実施することで、必要な支援について検討を行った。 ・今年度家族による虐待により緊急に受け入れが必要な利用者3名の受け入れを行った。虐待事例の利用者は障害程度等で当園の対象利用者ではない場合があり、利用が長引くと利用者にとってもよい環境とはいえなくなる場合もある。緊急で受け入れた後の調整をどうするか、市町村や相談支援事業所との連携も含めて検討していく必要がある。 ・各障害保健福祉圏域の自立支援協議会のとりまとめとしての役割を担い、地域の拠点施設の役割も果たした。
